



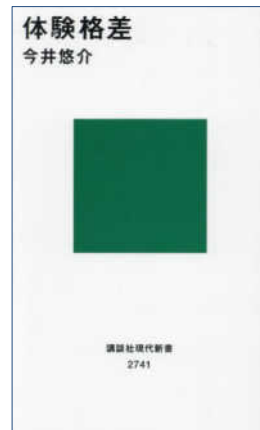
まだまだ残暑が厳しいですね。皆さんは勉強に部活に忙しい日々を送っていることでしょう。たまには図書館に来てゆったり読書する時間も楽しんでください。

今回は皆さんに、「新書」について知ってもらおうと思います。

「新書」とは、専門分野の入門書的な位置づけにある本のことです。高校生は様々な分野への視点を広げるのに最適の年代です。入門者用に分かりやすく書かれている本もたくさん出ているので、ぜひ図書館で手に取ってみてください。

今回の新着図書にも、「新書」が多く入っています。また、進路に関する新書のコーナーも新しくなったので、ぜひ見に来てください！

↓↓写真は「新書」の新着図書の一部です↓↓



図書委員からのおすすめ



木村 泰司 著

「世界のビジネスエリートが 身につける教養 西洋美術史」

この書籍には西洋美術の歴史が一冊に分かりやすくまとめられています。著者は、美術作品を単なる鑑賞の対象として見るのではなく、時代背景や社会情勢と関連付けて理解することの重要性を説いています。美術作品には、その時代の価値観や文化が凝縮されています。

この書籍では美術作品の分析を通して、創造性や洞察力を養うことの意義も説かれているので、美術に興味がある人にぜひ読んでもらいたいです。また、授業で美術や世界史を選択している人にも、勧めたい一冊です。

